

令和3年度活動方針

(令和3年5月31日から令和4年3月31日まで)

昨年度末(令和3年3月31日)付けで南那須地区介護支援専門員連絡協議会の解散があり、南那須地区においてケアマネジャーの職能団体がなくなりました。

しかし、県内最高と言われる高齢化率の南那須地区においてケアマネジメントを提供している方々(以後、ケアマネジャー等という)の資質向上と介護事業の発展普及に寄与するための職能団体の存在は必要であることは事実であります。

更には、今年度の法改正においても利用者の意思決定支援、特に人生の最終段階における意思決定支援が大きくクローズアップされているところであります。今後、認知症高齢者などの判断力の低下した方の意思決定を支援していき、高齢者等の自立を支えるためにも、ケアマネジャー等の資質向上と家族をはじめ地域との連携をとっていく力は必須となります。以上のことを鑑みて令和3年5月31日の設立総会に至りました。

現会員数7名という当会においての活動は、以下の3つを柱として活動していきます。

① 事例検討会を中心とした研修会

事例検討会は、地域資源の再認識・活きた知識の吸収等を同時に行えるうえ、質問による気づきという点でグループスーパーヴィジョンの展開もでき、ケアマネジャー等の資質向上に大きく役立っていけるものと考えています。

当会の事例検討会はファシリテーショングラフィックを用いて参加者の質問によって事例を目に見える形にしていく形式をとっていきます。それにより、専門職でなくても事例の全体像が把握できるようになります。

今年度は、そのための第一歩として

- a. ファシリテーショングラフィックの勉強
 - b. 質問力の向上
 - c. 事例検討会の流れの整理
- 等、模擬事例検討会を通して学んでいきましょう。

② ICTを活用した効率的な活動、コミュニケーション

予算の有効活用と今後のケアマネジャー等の持つべきスキルとしてICTの活用は有効な手段であります。今後、無料又は軽度の費用で使用できる範囲でのICTの推進を進めていきます。

- a. ホームページの公開・活用
- b. 会員へのホームページドメインのメールアドレスの付与・活用
- c. LINE WORKSによる連絡網の構築

d. Zoom によるミーティング開催
を今年度行っていきましょう。

③ 会員拡大

本年度の会員拡大目標を 20 名（南那須地区介護支援専門員連絡協議会会員数の約
3分の1）を目指して活動していきましょう。

令和3年6月8日

南那須地区介護支援協会
会長 鈴木昭夫